

Bassocontinuo AEON

¥710,000 (組合せBOTTOM+295mm+245mm)

デザイン性と音質・性能が両立
カーボンやステンレスを駆使した
軽量かつ強固な構造を確立
骨太な響きを引き出す



井上千岳
Chitake Inoue

SPEC

- シェルサイズ:660W×560Dmm ●有効スペース:600W×515Dmm ●上限有効スペース:660W×560Dmm ●耐荷重:80kg (bottom shelf)、60kg (other shelf)
- 取り扱い:(株)ユキム

バスソコンティニオはイタリアのラックやスタンドを手がけるハンドメイドのブランドで、この種の製品を現在ではオーディオ・ファニチャーと呼ぶ。大理石を敷き詰めたスピーカー・ベースだけが国に登場したが、ラックは本来その主要なジャンルである。

AEONはシンプルな外観だが、部材と構造の随所に入念な配慮が行われた設計が注目される。

構成はステンレス製の支柱と棚板、それに棚板を載せるフレームという内容である。棚板はポリウレタン・フォームとカーボンで形成され、カーボンは同一方向に揃えて1mm厚となっている。軽量ではあるが、これで耐荷重60kg(最下部は80kg)を確保しているという。またフレームはカーボン・ファイバーと樹脂でできていて、継ぎ目のないモノコック構造である。これもまた自重の140倍の強度があるという。さらに棚板との間には

形状記憶性能のある緩衝材を配して、振動吸収と分散を確かなものとする。このほか脚部には15mm厚のエラストマーを内包している。なお高さは数種類で選択することが可能である。

フレーム以外は非常に軽量なため、その間の振動モードが巧妙なバランスとなっているようで、単純な重量級・高剛性という設計とは一線を画している。実際棚板とフレームは揺れて動くが、それが振動吸収に貢献しているのは確かだ。逆に支柱は強固に動かないので、構造体としては余計な共振を生まないのである。

こうした設計の結果、音調には濁りがなく重心も安定している。ピアノはクリアなタッチが骨太な響きを持ち、バロックも余韻が豊かに引き出される。オーケストラは切れがよく瞬発力も高い。ジャズは大音量でもよく弾んで明快だ。

注目のポイント



ファニチャーとしてのデザイン性とオーディオ機器としての音質・性能を両立された斬新な設計で、ある程度高額なのはやむを得ないが、ハイエンドファンに特に推奨したい。